
ごみに関する主な用語の説明



一般廃棄物

廃棄物処理法で定められており、産業廃棄物以外の廃棄物をいう。主に、家庭から排出される生ごみや粗大ごみ、し尿、事業所から排出される紙くずなどをしめす。



家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）

特定家庭用機器の適正な収集運搬や再商品化等の実施を促し、廃棄物としての排出を抑制するとともに、再資源化を推進するために定めた法律。エアコン、テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ）、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機が特定家庭用機器として指定。



環境基本法

環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定めた法律。



感染性廃棄物

医療機関、研究機関などから排出される、感染性の病原体の付いた、また付いている恐れのあるごみ。産業廃棄物の一種。使用済みの注射針や血液などの付いたガーゼなど。



乾ベース、湿ベース

ごみの組成分析（紙やプラスチック、生ごみ等の含有率）を行うときに、排出されたままのごみで水分が含まれている状態を湿ベース、乾燥させて分析する場合を乾ベースという。



キルン式ガス化溶融炉

ごみを熱分解ガス化して燃焼するとともに、灰分を溶融する炉のこと。ごみ中の灰を溶融してスラグとして回収し、回収されたスラグは、コンクリート用骨材やアスファルト道路用材料として再利用できる。



小型家電リサイクル法（使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律）

デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等には有用な金属が含まれているにも関わらず、それらが廃棄されていることから、再資源化を推進するために定められた法律。



コンポスト

生ごみや落ち葉、雑草などを発酵させて堆肥として使うもの。有機物が微生物により完全に分解された肥料。



災害廃棄物

地震や台風など巨大な災害が発生した際に発生するがれきなどの廃棄物。



産業廃棄物

廃棄物処理法で定められており、産業廃棄物は、燃えがら、汚泥、廃プラスチック類、鋳さい、建設廃材、畜産農業にかかわる動物の死体やふん尿など20種。事業者に処理が義務付けられている。



循環型社会

製品等が廃棄物となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進されることが基本となる社会形態。



集団回収

市民が団体をつくり、収集の日時や場所を決め、定期的に紙類（新聞、雑誌、ダンボール及び飲料用の紙パック）や布類、ビン類、金属類などを集め、資源回収業者に引き渡す活動。



食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）

食品関連事業者から排出される食品廃棄物等について、その排出抑制と資源としての有効利用を推進するために定められた法律。



食品ロス

まだ食べられるのに捨てられている食べ物。小売店での売れ残り・期限切れ、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残し・食材の余りなど。



ストーカ式

階段状または櫛状の火格子である「ストーカ」の上で、ごみを移動させながら処理する焼却炉。



ストックヤード

搬入されたごみや、処理された資源物を一時的に貯留する施設。コンクリートなどで仕切られている。



3R（リデュース、リユース、リサイクル）

リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）の3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくらうとするもの。



ダイオキシン恒久対策

ダイオキシン類の発生を抑えるため、ごみ焼却炉の燃焼の安定化、ダイオキシン類除去のための排ガス処理施設の設置、焼却灰・飛灰処理施設の設置等の対策。



ちゅう芥類

台所から出る野菜のくずや食べ物の残りなどのごみ。



中間処理施設

廃棄物を埋立処分する前に、選別・減量などの処理をすることをいい、中間処理施設とはそのような廃棄物を処理する設備を備えた施設をいう。選別は、廃棄物の中から再利用（リサイクル）できる金属類やビン、缶、ペットボトルなどを選別すること。減量は、木屑、繊維くず、紙くずなどを焼却、破碎すること、また汚泥などの脱水すること。



長寿命化対策

ごみ焼却炉等のインフラ（社会基盤）を長く利用し、建て替えの回数を減らし、建設費用等を削減するために、定期的に補修を行うこと。



低炭素社会

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出を、現状の産業構造やライフスタイルを変えることで低く抑えた社会。化石燃料使用量の削減、高効率エネルギーの開発、エネルギー消費の削減、資源の有効利用などによって実現を目指す。



廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）

廃棄物の排出を抑制し、及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として定めた法律。



マイバッグ

レジ袋の使用を削減するため、個々で購入する買い物袋。このマイバッグの持参率を上げ、レジ袋の削減を促す行動を「マイバッグ持参運動」という。



リターナブル容器

ビールびんや一升びんなどの使用済みの容器を回収、洗浄して再び使用する繰り返し使用が可能な製品のこと。